

News

vol.47

Take Free





特集

もしものときの 救急医療

思いもよらないケガや病気は、ある日、突然起こります。平成 27 年の桑名市消防本部の統計によると、管内*の 27 人に 1 人が救急車で搬送された計算になります。

そうした状況の中、桑名市総合医療センター全体で受け入れた患者は年間およそ 3500 人。脳卒中や心疾患などの急性疾患や交通事故や転倒などの外傷性疾患に、チーム一丸となって対応しています。今回は、この 4 月、桑名西医療センターに開設した救急科の取り組みについてご紹介します。

*桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町

数字で見る 桑員地域の救急体制

8540 件

出動件数



平成 27 年中の桑名市消防本部管内*の救急出動件数は 8540 件。平均すると一日あたり 23.4 件の出動となります。平成 24 年に初めて 8000 件を超えてから、年々増加しています。

平均 7.8 分

現場に到着するまでの所要時間



救急車が 119 番通報から現場に到着するまでにかかった時間の平均は 7.8 分（全国平均 8.6 分）。119 番通報から病院へ収容するまでの所要時間は 35.3 分でした（全国平均 39.4 分）。

8068 人

搬送人員



出動件数 8540 件のうち、病院へ搬送されたのは 8068 人。平均すると一日あたり 22.1 人の搬送となり、救急出動件数とともに増加を続けています。

高齢者が全体の 55%

年齢区分別の搬送状況



搬送人員 8068 人のうち、65 歳以上の高齢者の占める割合は 55%（全国 55.5%）。次いで 18 歳から 64 歳までの成人が 34.5% となっており、搬送人員の約 9 割が 18 歳以上となっています。

急病が 4942 人

事故種別の搬送人員



搬送人員 8068 人を搬送の原因となった事故種別に分類すると、上位から「急病」が 4942 人、「一般負傷」が 1244 人、「交通事故」が 824 人となっています。

脳疾患と心疾患が全体の 17.8%

疾病分類別の搬送状況



急病の搬送人員 4942 人を疾病別にみると、脳疾患（8.3%）、心疾患等（9.5%）、消化器系（11.7%）、呼吸器系（12.8%）、その他の疾患（57.7%）となっています。日本人の三大死因の二つである脳疾患と心疾患を合わせると全体の 17.8% を占めます。

参考：平成 27 年消防白書（総務省消防庁）・消防年報 平成 28 年発行（桑名市消防本部）

— もしものときの 対処法 —

総務省消防庁の統計によると、平成26年に救急車で搬送された心停止の患者数は12万5951人。このうち、7万6141人は心臓が原因でした。ある日突然、身近な人が心停止になったらどうしたらいいのでしょうか。

大切な人を守るために一人ひとりにできることについて、桑名西医療センター救急科の佐々木部長にお話を聞きました。



大切な人を守るために わたしたち一人ひとりにできる 3つのポイント

～ 急性心筋梗塞の場合 ～



ポイント

01 病気を知る

急性心筋梗塞とは

心臓に栄養や酸素を送る血管が血の塊で詰まり、心筋への血流が途絶えた状態が続き心筋が壊死する病気です。



胸が痛い！ そのとき心臓は

胸の痛みは、心筋への血流が途絶えた時から出てきます。そのとき、心臓は時間とともに壊死した範囲が拡大し、心臓のポンプ機能が低下します。すると、脈が遅くなったり速くなったりして、低血圧となるほか、突然、「心室細動」と呼ばれる不整脈が引き起こされ、心臓が細かく震える状態となり、心停止することがあります。こうした不整脈による心停止は急性心筋梗塞になった直後から1時間以内に起こることが多いといわれています。

ひょっとするとその不快感は

実際の症状は、痛みというよりも

圧迫感や締めつけ感など なんとなく言いようのない不快感を感じる事が多く、また、必ずしも胸だけに起こるとは限りません。背中、肩、腕や胃のあたりなどに不快感を感じることもあり、筋肉痛や肩こり、消化不良のような胃腸症状と勘違いされてしまうこともあります。さらに、奥歯やあごのうずくような感じ、のどの苦しさや熱い感じといった症状で、歯科や耳鼻科を受診することがあります。

見逃さないで！ その症状

息切れ、冷や汗、吐き気、嘔吐、ふらつき・めまい、気を失いそうな感じなど一見関係のないような症状も多く見受けられます。また、これらの症状だけで胸部などの不快感がない場合もあり注意が必要です。

ポイント

02 速やかな119番通報

これまでにお話した症状のある方は、速やかに119番通報して救急車を呼びましょう。救急要請をすることで、心停止する前に病院へ搬入さ

れ早く治療を受けることができ、病院到着前の移動中に心停止が発生した場合でも救急隊員による処置が可能となります。また、処置を継続しながら治療のできる専門病院へ搬送してもらえるなどの利点があります。

ポイント

03 とっさの手当を学ぶ

突然の不整脈で心停止すると、人は突然意識を失って倒れます。このような場合、居合わせた人が、ただちに119番通報して心肺蘇生（胸骨圧迫や人工呼吸）を開始し、救急隊が到着するまでの間、これを続ける必要があります。心肺蘇生は、胸骨圧迫のみでも十分効果があり、心臓や脳に血液を送り続けることが大切です。さらにAEDを使用すれば、心室細動を取り除いて心臓の動きを戻すこともできます。

もしものときに落ち着いて対処するためには、心肺蘇生の方法やAEDの使用法などの救急蘇生法を講習で学び、身につけておくことがとても大切です。

急性心筋梗塞に対する治療法は
目覚ましく進歩しました。

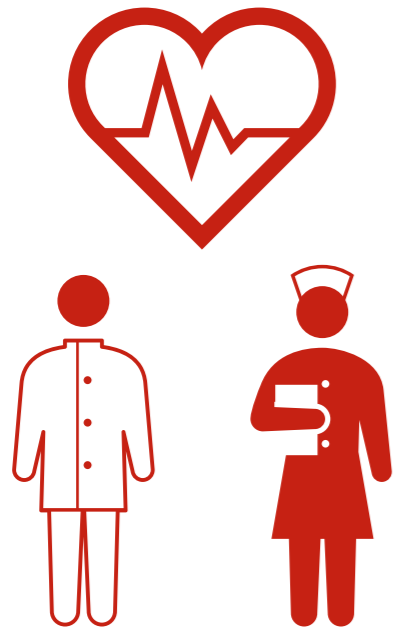
この治療は少しでも早く受けることが重要で
できれば2時間以内に受けることにより
心筋を救う効果ももっとも大きくなるといわれています。

急性心筋梗塞の治療は まさに「時間との戦い」です。

多くの人は早く治療を受けることにより
社会復帰することができます。



佐々木 俊哉（ささき としや）
1961年生まれ、愛知県出身。
1987年三重大学医学部卒業後、伊勢赤十字病院、浜松医療センターなどを経て2016年4月、桑名西医療センター救急科部長兼救急部長に就任。
日本救急医学会救急科専門医
日本DMAT（災害派遣医療チーム）隊員



桑名西医療センター 救急科

救急医療に携わる
スタッフが目指すものは
目の前にいる患者さんにとって
最善の医療を
提供することです

救急チーム力を発揮し 最善の医療を提供する

桑名市総合医療センターでは、桑員地域における救急体制を拡充させるために、今年4月、桑名西医療センターに救急科を開設しました。

救急科では、救急科専門医と看護師を中心とした救急チームが救急車で搬送された患者さんの初期診療を行っています。

新病院では、ER (Emergency Room) 型救急センターを目指すとともに救急病床を設置し、桑員地域で入院治療や手術を必要とする重症患者さん（二次救急）を確実に受け入れる体制を整えます。

救急スタッフの 知識と技術を高める

心臓と呼吸が止まると時間とともに救命率が低下していきます。

事故や急病などで心停止した人を救うためには、身近な人による胸骨圧迫やAEDの使用といった心肺蘇生（一次救命処置）、次に救急救命士や医師による高度な救命治療（二次救命処置）、そして心拍再開後の集中治療をすばやく適切に行うことが大切です。

救急科のスタッフは、日頃からBLS (Basic Life Support) 研修やACLS (Advanced Cardiovascular Life Support) 研修を実施し、一人ひとりの知識と技術を高めています。

救急医療を支える スタッフの連携を強めながら 医療の質を高める

救急医療は、病院前の救護にあたる救急救命士などの救急隊員、救急搬送後に病院内で治療を行う診療チーム、社会復帰のためのリハビリテーションを担うスタッフなど、さまざまな分野の専門スタッフに支えられています。これらのスタッフが、互いに連携しながら協力することで医療の質は高められると考えます。

救急科では、定期的に、これらスタッフとの事例発表や意見交換を行い、相互の情報を共有しながら、救急医療に携わるスタッフの知識や技術を深めて救急医療体制の充実に努めています。

患者さんとそのご家族に寄り添った看護を実践します！
救急看護のレベルアップのために
教育にも力をいれていきます

「いつも笑顔で！」をモットーに
救急看護をレベルアップさせ、最善の看護ケアを行います

市民や地域の医療機関にとって
救急科が果たす役割は重要！
今後もその体制を強化します



看護師長
佐藤さん

桑名西医療センター
副看護部長
中山さん

看護主任
堺部さん

看護師
伊藤さん

桑名西医療センター
看護師
松本さん 熊田さん 大竹さん 安達さん 末松さん

桑名市総合医療センター
総括看護部長 野中さん

緊迫した救急現場でも精度の高い検査結果を
速やかに提供します

必要な薬を確保するとともに
医薬品情報を他職種のスタッフと共有し
救急医療をサポートします

状況が刻一刻と変わる現場でも
医師が的確な判断ができるように
正確な画像を提供します

さまざまな医療機器が
安全に操作できるように
万全の状態にします

患者さんの症状の悪化を防ぎ
安全な搬送に努めています
病院スタッフに
正確な情報を伝えます



桑名西医療センター
臨床検査技師
水谷さん 矢橋さん 藏城さん

桑名西医療センター
薬剤部長 野村さん

桑名西医療センター
放射線技師 金森さん

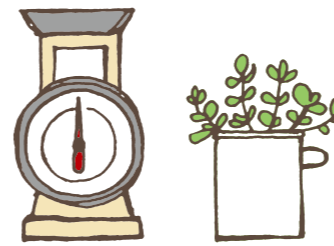
桑名西医療センター
臨床工学技士 佐藤さん

桑名市消防本部
救急救命士 水谷さん

管理栄養士

「食」で健康を支えたい！

病院で働く管理栄養士は、食事の献立を考えたり、患者さん一人ひとりに最適な食事内容をアドバイスしたり、教室を開いて正しい食や栄養の知識を身につけてもらうお手伝いをするなど、さまざまな役割を担っています。今回の医療人は、食や栄養に関する幅広い知識を活かして「食べる」をコーディネートするスペシャリストをご紹介します。



患者給食

～ 一人ひとりに合わせたオーダーメイド給食 ～

病院では、患者さんの治癒や回復を促すために一人ひとりの症状や疾患に合わせた栄養を摂り入れた食事を提供しています。

制約を受ける治療食でもおいしく食べていただけるよう地元の食材をふんだんに使い、季節を感じられる献立づくりをしています。

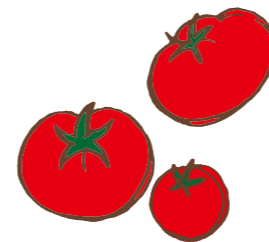


栄養指導

～ 患者さんのライフスタイルに合わせた食事を提案 ～

栄養指導では、患者さんの検査数値等を評価しながら、何をどのくらい食べたらよいか、食べ方のコツや調理の工夫など具体的な食事療法を提案します。

また、糖尿病教室や減塩教室、肝臓病教室などを定期的に開催しています。



栄養サポートチーム

Nutrition(= 栄養) Support(= サポート) Team(= チーム)

～ 患者さんの栄養管理をチームで支える ～

栄養サポートチームは、医師を中心に管理栄養士、薬剤師、看護師、臨床検査技師など多職種のスタッフが連携しながら、患者さんの栄養状態を管理します。スタッフそれぞれが持つ専門的な知識を活かし、さまざまな角度からアプローチすることにより、患者さん自身の治癒力を高めるようサポートしています。



8月26日、伊勢志摩サミット開催を記念した「まるごとサミット食」を桑名東医療センターに入院中の患者さんへ提供しました。

メニューは、志摩観光ホテルの宮崎英男料理顧問と三重県立相可高等学校の村林新吾教諭が考案しました。当日は、当センターの調理スタッフの中に宮崎シェフらも加わり、世界の首脳らが味わった食事を再現しました。



宮崎シェフ「盛り付けは彩りよく・・・」



Menu

伊勢海老クリームスープ
サミット風

海の幸
赤ワインとポルト酒のサミットソース
米澤モチ麦のリゾット添え

あおさ入り出汁巻き卵

すき焼
御飯

野菜サラダ
野菜とリンゴのドレッシング

メロンいろいろ
赤しそゼリー添え



スタッフ一同「まるごとサミット食 力を合わせて作りました！」

知っておきたい 乳がんのこと

桑名東医療センター 放射線科部長 川口 達也

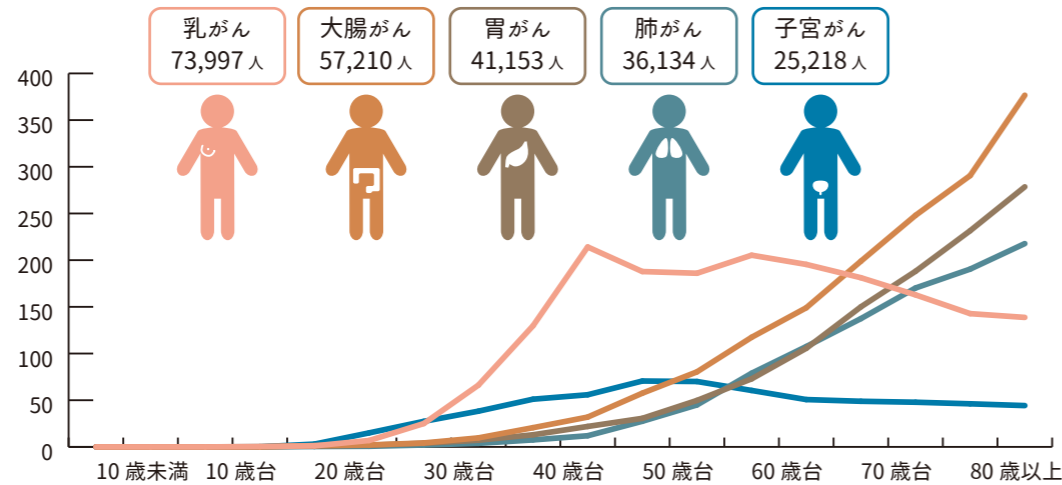


川口 達也 (かわぐち たつや)
1966 年生まれ、三重県出身。
1991 年三重大学医学部卒業後、市立伊勢病院、尾鷲総合病院などを経て、2006 年、山本総合病院 (現 桑名東医療センター) 放射線科部長に就任。

乳がん診断される確率は 11 人に 1 人

日本では年間およそ 7 万 8000 人が乳がんを診断され、1 万 3000 人余が亡くなっています。

また、生涯において乳がんを診断される確率は 11 人に 1 人 (9%) で、乳がんにかかるのが 40 歳台にピークを迎えるところが大腸、肺がんなどとは異なっています。



女性のがん統計

部位別がん患者数と年齢別の罹患率

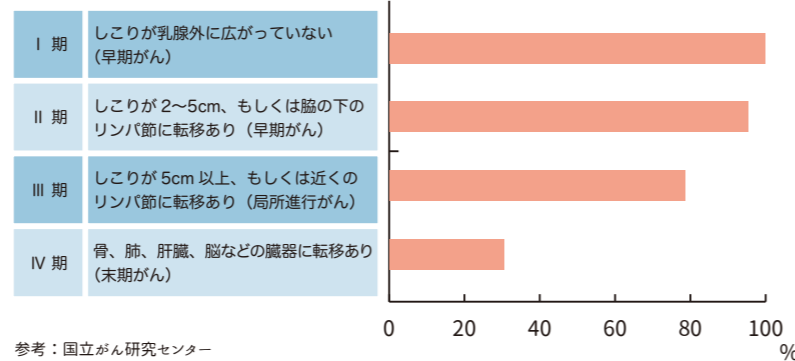
早期に適切な治療を受ければ 完治が期待できます

乳がんは比較的予後が良いがんです。早期に発見し適切な治療を受ければ、完治が見込めることがわかっています。

日本乳癌学会の 2011 年の登録症例報告によると、自覚症状があり自ら病院を訪れて発見された乳がんのうち、しこりが 2cm 以下であったのは 47% であるのに対し、検診で発見した乳がんの 72% (2/3 以上) が 2cm 以下であったとしています。このことから、乳がんは自覚症状が出る前に発見し、早期に治療を受けること大切です。

女性のがん統計

乳がんの進行度別 5 年生存率



早期に発見し適切な治療を行うために わたしたちにできること

当センターでは、2014 年に県内第一号となる 3D マンモグラフィ装置を導入。病変を多方向から撮影し、より詳しく観察できるようになりました。また、今年 9 月には、マンモトーム生検 (小さな病変が乳がんかどうかを調べるための組織診) をステレオガイド下 (マンモグラフィを撮影しながら) で行えるようになり、より精密な検査が可能になりました。さらに、新病院では放射線治療装置を導入し、がん治療の主な柱である外科療法 (外科手術)、放射線療法、化学療法など複数の治療法を組み合わせるようになっていきます。

乳がんは決して珍しい病気ではありません。自覚症状が出る前に発見できるよう検診を受けていただきたいと思えます。また、乳房に異常を感じる場合は、外科または乳腺科を受診し精密検査を受けましょう。

子どもたちの成長を見守る

桑名東医療センター 小児科部長 森谷 朋子



森谷 朋子 (もりたに ともこ)
三重県出身。1987 年名古屋市立大学医学部卒業後、海南病院、聖隷浜松病院、三重大学小児科などを経て、1996 年、桑名市民病院 (現 桑名西医療センター) 小児科医長に就任。2012 年 4 月より現職。

小児科の特徴

当センターの小児科では、さまざまな疾患の子どもたちが専門的な治療を受けています。

発熱、咳、鼻水、下痢など日常によく見受けられる症状をはじめ、喘息・アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患、てんかんなどの神経疾患、低身長などの内分泌疾患の検査や治療に対して、小児科の医師が中心となり、看護師や臨床検査技師、理学療法士など多職種の医療スタッフが協力してサポートしています。



新生児

新生児治療室 (NICU) で呼吸状態や発達に注意が必要な赤ちゃんのご家族に対して、入院中から退院後の自宅療養についての相談を行っています。また、週 2 回、小児専門の理学療法士によるリハビリテーションを行うなど他部門と連携しながら、退院後も継続して治療できる体制を整えています。



小児慢性疾患

腎臓、喘息、低身長を含む内分泌、てんかん、心臓など治療が長期にわたる疾患の専門外来 (予約制) を開設し、一人ひとりの生活環境などに合った治療を心掛けています。



子どものメンタルヘルス・ケア

今年 4 月から桑名西医療センターに小児心療内科を開設し、自閉、多動、学習障害、場面緘黙 (かんもく)、発達の遅れ、不登校など、子どもの心身の発達等に関する診療 (予約制) を行っています。



小児慢性疾患への新たな取り組み ～レスパイト・ケア～

レスパイト・ケア (respite care) とは、自宅で病気の患者さんのケアをしているご家族の休息などのために、患者さんを一定期間預かるなど、一時的にケアを代替して家族を支援することをいいます。

近年、新生児治療室 (NICU) や大学病院などで治療を受けて、酸素吸入や栄養剤を注入しながら自宅療養に移行する患者さんが、年々増加しています。自宅では、お母さんが中心となり、訪問看護を受けながら毎日つきっきりでお子さんのケアをなさっています。このような在宅医療を地域でサポートすることが重要になっています。

当センターでは、現在、病床の都合によりレスパイト・ケアの対応はできていませんが、2018 年開院の新病院では、レスパイト・ケアのための施設を設置したいと考えています。そのために、これからも行政などと連携しながら、患者さんとご家族が安心して暮らせるよう地域のニーズに応じた医療を実践したいと思っています。



第1回 桑名心臓 Wet Labo セミナー 医療スタッフが心臓を学ぶ

8月27日、桑名東医療センターで第1回桑名心臓 Wet Labo セミナーを開催しました。Wet Labo（ウェットラボ）とは、主にブタの心臓を用いて実際の心臓手術と同様の手技を行う研修のことです。

当日は、各医療センターから看護師、臨床工学技士など合わせて26名が参加。セミナーでは、心臓の解剖を学んだあと、弁の機能を回復させる手術（弁形成術・弁置換術）や、分離している血管をつなぐ動脈吻合（ふんごう）などを行いました。

2018年に開院する新病院では、心臓手術が受けられるようになります。患者さんに安心して手術を受けていただけるよう、これからもスキルアップ研修を続けていきます。



高校生が看護を体験

7月28日と29日の2日間、桑名東及び西医療センターで高校生を対象とした一日看護体験を開催しました。当日は、夏休みの一日を利用して46名の高校生が参加しました。

高校生は、院内を見学したあと、患者さんの手浴、足浴などの看護ケア体験し、看護師の業務と役割を学びました。



スタッフ全員が 手指衛生の基本を学ぶ

6月24日から7月31日にかけて、桑名市総合医療センターのスタッフ全員が、各センターの感染対策チーム（Infection Control Team）のメンバーから正しい手指消毒のやり方など手指衛生の基本を学びました。

スタッフは、手指衛生が必要なポイントを学んだあと、一人ひとりがアルコール消毒剤を使った手指消毒を実際に体験しました。



緑のカーテンに挑戦

この夏、桑名南医療センターでは、朝顔やゴーヤなどのつる植物を栽培し、緑のカーテンに挑戦しました。

成長した植物は、夏の日差しを和らげ、涼しさを運んでくれました。収穫した50本以上のゴーヤは、入院中の患者さんの食事として提供しました。



教室のご案内

受診の有無にかかわらず、どなたもご参加いただけます。

妊婦さん・産後ママのための教室 [予約制]		場所：桑名東医療センター		Tel: 0594-22-3709
内容	開催日	時間	参加費	対象
マタニティ・ヨガ	第2・4木曜日	13:30~15:30	700円	妊娠15週以降の正常な妊娠経過の方（医師の許可が必要です）
マタニティ・フィットネス	金曜日	11:00~12:00	700円	産後6週から2歳位まで
ママ・ヨガ	火曜日	11:00~12:00	700円	

糖尿病教室 [予約制]		場所：桑名西医療センター		Tel: 0594-22-7111
内容	開催日	時間	参加費	その他
みんなで楽しく運動しましょう！	10月27日（木）	13:00~14:30	800円	おやつのみ
バイキング形式で楽しく食事をしましょう♪	11月18日（金）	11:00~13:00	1500円	食事あり 通常のバイキングとは異なります
お正月を太らずに乗り切ろう！ お正月の料理の工夫	12月22日（木）	11:00~12:30	800円	食事あり

減塩教室 [予約制]		場所：桑名西医療センター		Tel: 0594-22-7111
内容	開催日	時間	参加費	その他
減塩の基本②(3回シリーズ)	11月8日（火）	12:30~14:30	1500円	食事あり（減塩寿司）

肝臓病教室 [予約制]		場所：桑名西医療センター		Tel: 0594-22-7111
内容	開催日	時間	参加費	その他
内臓脂肪と食事	1月13日（金）	11:30~13:00	1000円	食事あり

教室レポート

糖尿病教室レポート

毎日の軽い運動を習慣にしよう！

8月25日、桑名西医療センターで開催された糖尿病教室に参加してきました。テーマは「ラジオ体操でこんな効果が?! やせるためには…」。

はじめに、参加者一人ひとりが年齢相応の脚力や歩幅を維持しているかどうかをチェック。加齢とともに増える脂肪と落ちる筋肉をどのように維持していくか、ラジオ体操を実践した場合を例にさまざまな効果を学びました。



参加者全員でラジオ体操をしたあと、管理栄養士さん手作りの「レアチーズケーキ&フルーツジュレ」を楽しみながら、おやつと体重管理についてアドバイスをいただきました。



糖尿病教室では、身近なテーマを通じて糖尿病について深く理解することができます。みなさんも一度参加してみませんか？

各医療センターで開催される各教室は、受診の有無にかかわらず、どなたでも参加することができます。

<レポート 広報担当>



GO! GO!

建設現場 レポート

vol.5

このコーナーでは新病院の建設に関する最新情報をお知らせします。



地上の工事に入りました!

新外来棟では、1、2階部分のコンクリートの打ち込みが終わり、3階部分の型枠の組み立て作業が進められています。この型枠を支えるために、1、2階には支保工（しほこう）と呼ばれる鉄パイプがびっしりと並べられました。

現在、工事が進められている新外来棟の1、2階は、駐車場として利用されます。

新入院棟では、9月上旬に基礎躯体工事が完了しました。現在、鉄骨建方（てっこつたてかた）と呼ばれる鉄骨の組み立て工事が進められています。

新入院棟は、地上11階建て、高さおよそ51メートル。鉄骨建方工事では、地上と高所に分かれた職人さんの巧みな連携プレーで鉄骨が組み立てられていきます。



型枠が完成すると、次はコンクリート打設



支保工が等間隔に並べられた新外来棟1階



鉄骨建方の工事が進む新入院棟

なんでも Q & A



会計時にクレジットカードを使うことができますか？



桑名東、西及び南の各医療センターでは、会計時にクレジットカードをご利用いただけます。なお、各医療センターでお取り扱いできるカードが異なります。詳しくは受付窓口でおたずねください。

また、桑名西、南医療センターではデビットカードもご利用いただけます。



新刊紹介

桑名市総合医療センターの竹田寛理事長が、2014年4月から2016年2月までホームページへ毎月連載したブログ22篇が一冊の本になりました。2016年10月発売です。

理事長の部屋から

竹田 寛 著
竹田 恭子 イラスト

三重大学出版会
2016年10月発行



この花はこんな顔をしていたのか！

日本の四季を彩る身近な花々の驚くべき素顔を捉えた写真による随想集。
花の植物学的な特徴や、関連する文学、絵画、音楽、懐かしい映画などの話題をほのぼのとしたイラストとともに綴る。

